



学校だより

No.537

令和 4年 5月31日
練馬区立田柄第二小学校
校長 岩井 一 雄

教育目標 : 元気な子ども ・ 考える子ども ・ 思いやる子ども

明日を目指して進んでいこう

副校長 新保有希子

新緑が眩しい季節です。学校にある多くの植物も皆、イキイキとしています。身の回りの生き物に生命力を感じずにはいられません。木々の葉を見ていると、同じ緑でも実にさまざまな色があることに気づきます。十人十色ならぬ「十緑十色」と言ったところですよ。

気候が良いと、つい自転車でお出かけすることも増えます。車よりも景色をゆっくり楽しむことができ、徒歩よりも遠くへいける自転車でのお出かけは気持ちがいいものです。

幼い頃の初めての自転車は、後輪の両脇に補助輪が付いていました。補助輪がなくても乗れるようになろうと、親に後ろを支えてもらい、フラフラしながら練習したことを思い出します。自転車で上手に乗るためには「目線は遠くに」と言われました。手元ばかり目の前ばかり見ていると、力が入ってしまっただけで、うまくいきません。「顔を上げて自分の進む方向を見ると安定して走ることができるよ。」と教わりました。

そんなアドバイスが、今になってみると、教育や子育てにも言えることだなと感じています。

子供たちと日々かわる中で、今、目の前で起きていることにばかり気を取られてしまうことがあります。でも、焦らずにその子の未来に目を向け、今できることを考えてかかわっていかうとする気持ちが、安定感のある成長につながるのではないかと思います。

子供たちが社会に出る10年後20年後の未来について、文科省が示した学習指導要領の平成28年答申では次のように記載されています。

「社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難となってきており、どのような職業や人生を選択するかにかかわらず、全ての子供たちの生き方に影響するものとなっている。社会の変化に対して受け身の立場でいると難しい時代になると考えられる。しかし、このような時代だからこそ、変化を前向きに受け止め、私たちの社会や人生、生活を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしたり、現在では思いもつかない新しい未来の姿を構想し実現したりしていくことができる子供の育成を目指す。（一部要約）」

これからの時代を生きていく子供たちが、自ら進んで人間らしい発想や情熱をもち、新たなものを作り出していける力をつけること、そのために毎日の積み重ねがあるのだということを忘れずにいたいものです。

子供たちの毎日の努力や達成感、失敗や反省、さらには悩みや挑戦が、未来の「自分」をつくります。皆、一人一人がものすごい可能性を秘めているのです。

本校の校歌には「明日を目指して進んでいこう」という歌詞があります。まさに未来に目を向けようというメッセージを感じます。

校内音楽鑑賞教室を開催します

6月14日（火）に、東京都後援の「文化プログラム・地域連携事業」による、音楽鑑賞教室を開催することとなりました。

「Percussion Performance Players」という打楽器中心の演奏をするアーティストをお招きします。

本年度は学習発表会ということもあり、子供たちにとってよいきっかけとなることを期待しています。

※児童のみの参観となります。ご了承ください。

6月11日（土）の防災訓練について

年度当初に配布した年間行事予定には、6月11日（土）の学校公開日に「防災訓練」を計画しておりましたが、全校一斉の訓練ではなく、学年ごとに分散し実施するよう計画を変更することにいたしました。

今後、時期を分けながら防災意識が高まるよう訓練を進めてまいります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

※6月11日（土）は授業参観となります。

6月の生活目標「気持ちのよいあいさつをしよう」

気持ちのよいあいさつをするためには、発する人と受け取る人の両方の気持ちが、明るく健やかであることや、あいさつを発する人と受け取る人との両方が、“互いを思いやる気持ちをもつこと”が大切になります。ご家庭でも、「あいさつ」について考える機会があるとよいと思います。

